総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要（平成25年度）

2．分野等別状況　（2）地域活性化総合特区　④観光分野（4/5）

	評価区分（*1）	総合評価（ⅠとⅡの平均値にⅢを加味）	Ⅰ目標に向けた取組の進捗に関する評価	Ⅱ支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ現地調査時の指摘事項及び対応状況　等（*2）	総合評価に係る専門家所見（主なもの）
環境観光モデル都市づくり推進特区（広島県）	正	C 3.2	C 3.3 進捗度 ・環境学習等を目的とした産業観光客数 92% ・世帯当たりのCO2排出量削減割合 51% 等	C 3.1 規制の特例等 ・改造電気自動車等のバッテリーから家庭への給電に関する基準の明確化　等 財政支援等 ・次世代エネルギー技術実証事業　等 地域独自の取組 ・広島県総合特区事業費補助金（地域内のエネルギーマネジメント構築、地域エネルギーバックアップシステム構築に要する経費を補助）等	±0.00	・環境と観光を融合させた新たな取組みは評価できる。低炭素社会の実現と連動した交流人口の拡大に向け取組みを推進し、全国の先進地域となることを期待したい。 ・観光面に関しては、評価指標を変更し、それに伴って目標設定のあり方も変更（※）したことにより、取組みの方向性がより明らかになった。 ・反面、対外的なPR・宣伝が先行し、肝心のコンテンツ及び地域・事業所レベルでの受入体制が判然としない。産業観光・環境観光は、これらを地域事情・事業者事情に応じて整理し、「商品化」「受入窓口の一本化」を図ることが大切であり、今後、そうした取組みが望まれる。 （※）従来の目標は、対象者を小中高生に限定するとともに、対象地域も尾道市及び福山市のうち鞆の浦、みろくの里に限定していたところ、24年度評価における委員指摘を踏まえ、対象者を大人まで拡大するとともに、対象地域を尾道市、福山市の全域としたところ。

◆評価書はこちら　　◆評価結果はこちら

*1）「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。　　*2）「Ⅲ」については、「地方公共団体による総合評価の状況について」も評価している。